

博士後期課程 教員一覧 (2026年度)

学位の名称 | 博士(看護学)

専門領域	職位	教員名	研究テーマ
看護管理学	教授 *	田中 幸子	看護関係法の立法政策過程、占領期の看護改革、オーラルヒストリー、看護師の働き方、看護労働
看護倫理学	教授 *	高橋 衣	子どもの権利擁護、子どもの権利擁護尺度、子どもの権利擁護実践プログラム、看護基礎教育における倫理教育
看護哲学	准教授	濱田真由美	授乳支援、社会規範、セクシュアリティ、質的研究方法論、看護哲学
成人看護学 (がん看護・急性期)	教授 *	佐藤 正美	直腸がん術後のLARSケアプログラムの開発、薬剤師との連携によるがん患者支援
成人看護学 (がん看護・慢性期)	准教授	望月 留加	がん薬物療法を受けるがん患者の症状マネジメント、がん患者の家族支援に関する研究、がん看護に携わる看護師の共感疲労と支援
老年看護学	教授	梶井 文子	地域在住の認知症高齢者と家族の支援方法、地域での認知症支援システムの開発、多様な高齢者のエンドオブライフケア、医療機関から在宅への移行のための高齢者の栄養管理と多職種連携
精神看護学	教授 *	小谷野康子	地域住民のセルフ・コンパッション向上に向けた介入、弁証法的行動療法スキルトレーニングの効果、精神看護学における倫理教育、患者理解を促すVR教材の開発
母性看護学	教授	松永 佳子	リプロダクティブヘルスの推進に向けた多職種連携支援モデルの構築、ICT・eラーニングを活用した専門職教育プログラムの開発、産後ケア・育児移行期における父親支援・夫婦間役割調整プログラムの開発
	准教授	濱田真由美	授乳支援、社会規範、セクシュアリティ、質的研究方法論、看護哲学
小児看護学	教授	永吉美智枝	小児がん患児の心理社会的支援・長期フォローアップ・学校生活支援ツールの開発、小児慢性疾患の成人移行期支援、親子の関係性支援スキルアップ研修の開発、網膜芽細胞腫の支持療法・緩和ケアの開発
	教授 *	高橋 衣	子どもの権利擁護、子どもの権利擁護尺度、子どもの権利擁護実践プログラム、看護基礎教育における倫理教育
地域看護学	教授	嶋澤 順子	家族を介護する精神障害者の介護体験、保健師・訪問看護師による在宅精神障害者支援
在宅看護学 (老年看護・家族看護)	教授 *	北 素子	急性期病院に入院する認知症高齢者の入退院支援における家族参加型介護高齢者の在宅介護プロセス、介護家族の生活安定尺度、家族看護
臨床病態学	教授 *	大橋 十也	先天代謝異常症に関する研究
	教授 *	二ノ宮邦稔	運動器に関する力学的研究

ただし、2027年度入試(2026年度に実施する入試)では、*の教員による研究指導の募集は行いません

